

新提案

早く知リたかった! EVは“中古で買う”が勝ちのホント

お得なあれこれ
教えますよ!

カーセンサー

driver

ドライバー

8 本気のブツが 一番強い

MOVE ON.

「開け、スライドドアの7代目」

ムーヴ超解説



“ノマド”が広げる
初めてのジムニーライフ



JIMNY Custom Style Book 2025

【解説 & 試乗】

3つの顔の6代目は待つ価値あり? 「新型RAV4」
待ってました! のGRスポーツ「カローラ クロス」
ナイスミドルSUV選「フォレスター / X3 / CX-60」
絶対に失敗できない3代目の秘策は…「新型リーフ」
アコード / ゴルフR / キャプチャー / RX etc.



●ショルダーサポートの張り出しを抑えた形状により、シート設置スペースが狭いジムニーにも余裕で収まる。また平坦な座面形状により車高が高めの車両でも優れた乗降性を発揮する



●ヘッドレストのエリアに配された“BRIDE”の刺繍（ししゅう）にはグレー系のカラーを採用。主張を程よく抑えたロゴの色と、周囲のステッチ処理が室内空間にワンランク上の質感を与える

●座面は人が座って体重がかかった際に適度に沈み、太ももから尻まわりを支える設計。体圧を分散し心地よい着座感を与える。また平坦な形状は車高が高めのジムニーでも優れた乗降性を発揮



●エッジを効かせたショルダーによりシートに身を委ねるだけで最適な着座ポジションをキープ。なお写真にはないが、オプションで好みの角度に設定できる有段式アームレストも装着できる。（左右用 各1個/2万6800円）



●腿部クッションは2種を用意。161SCに写真左のタイプ、162SCに右のタイプを装備

シリコン素材で
汚れにくさを
追求する

edirb 161SC/162SC

エディルブ 161SC/162SC 価格:未定

シート表皮にPVCよりもメンテナンス性に優れたシリコン素材の合成皮革を採用したうえで、その特性を生かして上品なホワイトに仕立てた新製品。



●バックレストの背面には、A4サイズまでの雑誌やマップなどの収納に便利なポケットが装備されている。ドライプや日常使いでの使い勝手もしっかり考慮されている

スタイリッシュなデザインに仕立てている。
ちなみにこの製品は、レクサスRC Fなどプレミアムスポーツ系の車種でシート交換を望むオーナーたちも満足させる、ハイオリティなアフターシートをコンセプトに開発されたという。生地部の組み合わせも同社製品では前例のない、なんと30ピースに迫るパーツを組み合わせて構成していることから、ブリッドの本気が伝わってくる。
もちろん自動車用シートとして耐久性が高いうえに汚れにも強く、万が一汚してしまった場合でもメンテナンスがとても簡単だ。アウトドアスポーツなどでも使うことも想定されるジムニーにももってこいのポテンシャルを備えたモデルといえる。

ブリッドの人気シート、エルゴスターの性能はそのままにクオリティを高めたニューフェイスが登場。
ジムニーとのドライブがより一層楽しくなる一腳だ！

文＝鈴木克也 text by Katsuya Suzuki
写真＝藤井 修 photo by Osamu Fujii

価格：17万6000円（シートヒーターなし）／19万4700円（シートヒーター付き）
カラー：チャコールグレー

BRIDE | ブリッド エルゴスター ヌグレ ERGOSTER NUGRAIN

「しっとり＆サラツと感が魅力」
JB64および74系の現行ジムニーシリーズは従来モデルまでのオフロード志向のユーザーに加え、一般的な乗用車からの乗り替えとしてふだん使いやロングドライブなどのファミリーカー的に選ぶ人も非常に多い。そうしたユーザーのなかには、車内を上質な空間にアレンジしたいという意見もあるだろう。そこで提案したいのが、アフターシートを用いたカスタマイズ。なかでもジムニーにオススメなのが、ニューエルゴノミクスデザインにより疲れにくさと扱いやすさを高めた、アフターシートメーカー「ブリッド」のリクライニングモデル「ERGOSTER（エルゴスター）」シリーズだ。
乗員の肩を覆うシヨルター形状によって、ジムニーのような車高が高く走行時の姿勢変化がセタンなどに対して大きなクルマでも横揺れから体を確実にホールド。これにより快適な座り心地を提供してくれる。今回はその基本性能を継承しながら、シックで上質なファオルムを得たニューモデルをクローズアップする。
ご覧のように本革に毛羽立ち加工した「スバック」を連綿させる風合いが魅力の製品だが、このシートは「合成皮革」で再現されている。表皮にはシューズメーカーとしても広く知られる「アキレス」が開発した、高触感表皮材「NUGRAIN（ヌグレ）」を採用。
しっとり感とサラツとした質感を兼ね備えた、本革にきわめて近い風合いのPVC表皮に、裁断パターンや意匠線を多用することでラグジュアリーさとスポーティ感が共存する